

新製品 新技術紹介

地震に役立つ火災警報器 生方 眞哉

株式会社生方製作所

〒457-0828 名古屋市南区宝生町 4-30

TEL (052) 612-3333 FAX (052) 612-3336

URL <http://www.ubukata.co.jp>



平成 18 年度
名古屋工業技術グランプリ
「名古屋市長賞」受賞
感震ライト付火災警報器
“ピオマ”

弊社はガスマイコンメーターに搭載されている感震器を作っているメーカーです。地震による 2 次災害を防ぐ為、この感震器は地震の揺れを確実に捉え、ガスの供給を止める為の信号を出力します。

この技術を民生品に生かす為にライトと組み合わせ、地震時にライトを照らす事を考えました。これはまだ辺りが暗い時間に地震が発生した阪神淡路大震災での体験談で、「とにかく明かりが欲しかった」との要望が多くあったからです。

また消防法の改正により一般住宅への火災警報器の設置が義務化される事から、感震ライト（地震でライトを照らす機能）を火災警報器と組み合わせる事にしました。

それは火災警報器の設置場所が天井または壁の高い位置であり、ライトを設置する場所としては最適であった事と、ライトをアンバー

（オレンジ）色にする事で火災の煙を検知した時に、フォグランプと同じ効果で可視性を少しでも良く出来ると考えたからです。

消防法の改正は、火災時の逃げ遅れによる死者が約 6 割である事が背景にあります。これを少なくする事が目的で、火災警報器設置による効果はアメリカで実証されていました。

実際火災が起こると煙が充満し視界が良好ではない事や、パニックになる事が考えられます。そこで、ライトを点灯して可視性を良くし、心理的な不安を和らげる事が非常に重要であると考えました。

これまでの火災警報器は出来るだけ目立たない形で白色でした。一般住宅に必要とされる形や色を考えた場合、必ずしもそうではないと考えました。それは一般住宅には様々な壁紙とカーテンの色があるからです。防災機器としてだけではなく、各室のインテリアとしてもご利用していただけるよう、デザイン性も重視しました。

そこで火災警報器機能（煙流入特性）に支障が出ないよう実験を

繰り返し現在の形状になりました。さらにカラーを 6 色揃える事によって、好きな色を選ぶ事が出来るようになりました。

これが認められ、火災警報器としては初めてのグッドデザイン賞（2006 年）を受賞する事も出来ました。

火災警報器は日本消防検定協会の NS マークが表示されていれば、煙検知の機能に優劣は殆どありません。しかし、より安全である事にこだわり、ピオマが誕生しました。

取り付けは義務ですが、消費者に選択肢の幅を広げ、より安全な製品を供給出来るようになったと自負しております。

